

**報告タイトル**

台湾大学のスタートアップ・エコシステムの構築

The Construction of Startup Ecosystem of National Taiwan University

**氏名(所属)**

岸本 千佳司 (公益財団法人アジア成長研究所)

KISHIMOTO Chikashi (Asian Growth Research Institute)

**要旨(800字程度)**

本研究は、大学を核としたスタートアップ・エコシステム発展の研究の一環として、台湾を代表する大学である国立台湾大学 (NTU) の事例分析を行う。より具体的には、台湾大学に付属する研究センターの1つである「台大創創センター (TEC)」の取り組みに焦点を当てる。台湾大学では、2008年の創業者教育の専門コース(「臺大創創學程」)開設以降、スタートアップ・エコシステムの構築が進んでいる。TECは、この創業者教育の延長線上でスタートアップ・チームを支援するために設立された(2014年)。現在では、初期ステージのチーム向けの「NTU Garage」、より成長したチーム向けの「NTU Accelerator」、スタートアップと中堅・大企業の連携による双方の発展を狙いとする「NTU Corporate Accelerator」という3つのコアプログラムを運営する。加えて近年、学外者向け創業者教育コース(「創辦人學堂」)を立ち上げ、および独自のエンジェル投資クラブ(「天使投資俱樂部」)をも組織化し、活動の幅を広げている。

本研究の特徴は、こうしたスタートアップ支援組織を、スタートアップの育成を通して、起業家・スタートアップおよびその協力アクター(メンター、投資家、専門家、協力企業等)のコミュニティを構築し、創業とイノベーションを促進する独自のエコシステムの発展を目指す一種の企業体とみなす点にある。そして、経営学的観点から、支援組織(TEC)自身が優れたポジショニングや効果的な経営方式をどのように形成し、どのようなゴールを描いているのか、そのためのリソースをどのように調達し、その下でプログラムのデザインと実施がどのように規定されているかに関して体系的な分析を行おうとしていることである。本研究は、こうしたTECによる台湾大学を核としたスタートアップ・エコシステムの構築・拡大の取り組みを「戦略ストーリー」として描き出し、その全体像を解明する。